

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直東学園版

令和7年度 第3号

令和7年7月25日発行

< 発行・編集 >

直東学園 事務局

〒942-0041

新潟県上越市安江 282-1

(上越市立直江津東中学校内)

TEL : 025-543-2729

FAX : 025-543-4150

E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

がんばった!!

運動会・体育大会

今年も各小学校で運動会・体育大会が開催されました。

多くの応援の声に応え、子どもたちは最後まで力いっぱい取り組みました。



北原小学校「すくすく運動会」

5月31日(土)

運動会のスローガンは、「全力 協力 あきらめない 共に闘い深める絆」でした。子どもたちはこのスローガンを胸に、約3週間練習や準備に取り組んできました。子どもたちの思いがたくさん詰まった運動会。最後まで全力で走り切る、本気で友達を応援する、こういった姿がたくさん見られました。勝負のポイントは全校種目のじゃんけん関が原。この時に白が勝っていれば総合点が互角になったと思いますが、これを契機に赤が逃げきりました。順位変動が激しかった低・中高学年リレーやキレキレで笑顔が素敵だった全校ダンスなど見どころが満載の運動会でした。



保倉小学校

「ほくらスポーツフェスティバル」

5月24日(土)



子どもたちが決めた今年度のほくらスポーツフェスティバルのスローガンは「電光石火～力を合わせて 優勝めざすほくらっ子～」です。スローガンの通り、赤軍白軍ともに、優勝を目指して全力を尽くしました。

今年のスポフェスでは、子どもたちの生き生きとした姿を地域・保護者の方に見ていただくことはもちろんのこと、「地域と共に創る教育活動」を目指して、来校者の方々が参加できるような内容にしました。例えば、応援合戦の評価に観客も参加する、保倉小伝統のよさこいソーランは見ているお客さんを意識できる隊形で行い卒業生にも参加してもらう、地域の方が誰でも参加できる地域種目を設定する、幼児レースの復活などです。

初めての試みもあり、参加者の反応が気になるころでしたが、QRコードによる応援の審査にもたくさんの方が協力してくださいました。また地域種目、幼児レースにも思った以上の参加がありました。参加してくださった地域・保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。

有田小学校 「スポーツフェスティバル 2025」 5月24日(土)

当日は曇り空の中のスポーツフェスティバルとなりました。今年度は内容を大きく変更し、重点としている「自分もみんなも大切にする」姿につながる種目を設定しました。じゃんけんで勝てるかどうかの楽しさを感じながら走る「じゃんけんラン」、全力を出し切る楽しさを感じながら走る「RUN ラン」、全校が仲良く楽しめる「なかよし班種目」、楽しい時間を共有する「応援パフォーマンス」等です。当日は、普段運動が苦手と思っている児童や運動会の参加に消極的な児童も生き生きと取り組む姿が見られました。「なかよし班種目」では、全校が一体となって競技を楽しみ、閉会式後のフィナーレでは、各チームのダンスを全校で踊り、児童から「本当に楽しかった」「来年はもっと楽しみたい」という感想が多く聞かれました。ご協力いただいた PTA ボランティアの皆様、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



春日新田小学校 「運動会」 5月24日(土)



左の写真は、両軍の応援団長です。二人は、運動会終了のその時まで、運動会のスローガン「一致団結 最後まで全力で 楽しもう」のもと、各軍をリードしました。競技後の疲れている時も、応援で喉がからからな時も、大きな声で指示を出したり、素早く行動したりして、様々な場面で、応援団長として、高学年として、スポーツマンとして大切なことを行動で示していました。見ていてとてもたのしかったです。また、他の児童に目を向けると、6年生がいない時は5年生が、5年生がいない時は4年生が……。自分たちで進んで応援する姿に、子どもたちの一生懸命さを感じました。

参観して下さった保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。たくさんの拍手や応援が子どもたちにとって、とても励みになりました。また、保護者の皆様には、競技が安全にスムーズに行われるようにご協力いただきました。重ね重ね御礼申し上げます。



体力づくり 1校1取組運動



北 諏 訪 小: 準備運動時におけるラジオ体操を継続します。様々な運動ができる環境整備、ペース走やおにごっこ等、学年の実態に合わせて体力向上を図る「体力アップタイム」を実施します。

保 倉 小 : 運動を楽しみ運動が好きな子を増やすために、バランスの取れた体力が身に付けられるようにし、いろいろな遊びや運動を紹介したり用具を手軽に使ったりできる環境を整えます。

有 田 小 : 体育・保健体育の授業が楽しいという児童・生徒を増やすための授業改善
運動・スポーツが好きという児童・生徒を増やすための授業以外の取組

春日新田小 : iPad を活用して体の動かし方を確認したり、6年間の成長を視覚化できる学習カードを活用したりして、運動ができる、上達している喜びを実感できるようにしています。

直江津東中 : 授業ではできるだけ説明を短くして生徒が主体的に活動し、運動量を確保できるような授業展開になるよう工夫しています。生徒会が中心となって企画運営する球技大会を実施するなど、楽しみながら体を動かす機会を増やしていきます。

令和7年度 直江津東地域青少年育成会議

5月16日(金)に直江津東地域青少年育成会議総会を開催し、令和7年度の内容が承認されました。組織、役員は下記の通りです。

直江津東地域の子育て目標

「地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども」

委員

役職	部会所属	学校区	氏名	備考
会長	地域部会	春日新田小学校	熊木 敏夫	有田地区町内会長協議会長
副会長		北諏訪小学校	白木 朝雄	北諏訪地区町内会長協議会長
		保倉小学校	神村 大輔	保倉地区町内会長協議会長
幹事		直江津東中学校	高橋 邦夫	直東学園理事長
委員		北諏訪小学校	澤海 雄一	北諏訪小学校後援会代表
委員		保倉小学校	八木 隆	保倉小学校後援会代表
委員		有田小学校	市村 輝幸	有田地区小学校後援会代表
会計監査		有田小学校	池田 憲雄	有田小学校後援会代表
会計監査		春日新田小学校	高橋 秀樹	春日新田小学校後援会代表
幹事	保護者会部会	直江津東中学校	竹内 梓	PTA会長
委員		北諏訪小学校	佐伯 裕一	PTA会長
委員		保倉小学校	樋口 雅樹	PTA会長
委員		有田小学校	柳澤 秀貴	PTA会長
委員		春日新田小学校	渡辺 欽一	PTA会長
副会長		直江津東中学校	江口 利彦	学校長
委員	すこやか ネットワーク部会	北諏訪小学校	植木 靖英	学校長
委員		保倉小学校	荒井 尊嗣	学校長
委員		有田小学校	野田 晃	学校長
委員		春日新田小学校	廣井 弘敏	学校長
幹事		春日新田小学校	大瀧 明美	有田保育園長
委員	幼児教育部会	北諏訪小学校	山谷 園恵	北諏訪保育園長
委員		保倉小学校	村田 結子	保倉保育園長
幹事		保倉小学校	神村 眞由美	地域コーディネーター
委員	学園支援本部	北諏訪小学校	堀田 恭子	地域コーディネーター
委員		有田小学校	秋山 千恵子	地域コーディネーター
委員		春日新田小学校	三宅 佐和子	地域コーディネーター
委員		直江津東中学校	高橋 邦夫	地域コーディネーター
委員		有田小学校	木原 満男	直東学園事務局長

地域コーディネーター (◎は長)

事務局

学校区	氏名	事務局分担
直江津東中学校	高橋 邦夫	
北諏訪小学校	堀田 恭子	ボランティア
保倉小学校	山本 隆子	地域青少年まちづくりワークショップ
	神村 眞由美	◎ボランティア
	宮川 久子	地域青少年まちづくりワークショップ
有田小学校	丸山 由美子	コーディネーター委員会委員 ボランティア
	秋山 千恵子	◎地域青少年まちづくりワークショップ
	木原 満男	地域青少年まちづくりワークショップ
春日新田小学校	三宅 佐和子	ボランティア

事務局長	直江津東中学校	高橋 邦夫 (外部団体関係機関担当)
事務局次長	有田小学校	木原 満男 (外部団体関係機関担当補佐)
事務局員		(庶務・会計) 飯塚 愛
学校別事務局長	直江津東中学校	大島 弘士
	北諏訪小学校	入村 文子
	保倉小学校	五十嵐 有紀子
	有田小学校	黒田 隆夫
	春日新田小学校	富樫 徹

直江津東中学校区生活のきまり

～ 大人と子ども 一緒に相談しよう 我が家のルール ～

1 安全

- ① ゲームセンターやゲームコーナー、カラオケボックスなどには、子どもだけでは行きません。行く時は「責任もてる大人」と一緒に行動します。
- ② 動画、ゲーム、SNS等の使用のモラルやマナーを守ります。
 - ・小学生は夜8時まで、中学生は夜9時までの利用とします。
 - ・1日の使用時間は2時間以内とします。
 - ・保護者と一緒に使い方の約束をしてから使います。

上越市P連「アウトメ
ディア宣言」でも同じ
目安を示しています。

「ゲームレーティング」を確認しましょう。ゲームレーティングとは「性・暴力・反社会的行為などの表現内容」に基づいて、対象年齢を表示する仕組みであり、約束を考える際に材料のひとつになります。



※小・中学生には不適切な表現内容が含まれるというマークです。

- ③ 自転車等による、危険な走行はしません。

危険走行…とび出し、二人乗り、手放し運転、斜め横断、並列走行、スピード出し過ぎ、交差点での一時不停止、信号無視、無灯火運転など、「自分や周りの人を危険にさらす走行」のこと

- ・決められた範囲で乗ります。家の人の許可を得て乗ります。
- ・自転車走行時のヘルメット着用は、「努力義務」になっています。自分の命を守るためにも着用しましょう。
- ・降雪時、凍結時は自転車に乗りません。
- ・キャスターボード（ブレイブボード）、キックボード、ローラースケートなどは、歩道や車道では乗りません。



平成30年6月、上越市内において「キャスターボード」で遊んでいた小学生が亡くなる交通事故が発生しました。このような事故を繰り返さないため、上越市内では、公道における使用が教育長名で禁じられています。

2 外出

- ・「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつ帰る」を、家の人に必ず伝えます。
- ・朝、午前9時までは遊びに出かけません。
- ・帰宅の時刻を守ります。ただし、家庭・地域の行事等がある場合は除きます。

【小学生】夕方5時までに帰宅します。

※夏休み中は「夕方6時まで」に、冬休み中は「夕方4時30分まで」に帰りましょう。

【中学生】夜7時以降の子ども同士での外出は禁止です。

3 外泊

- ・子ども（児童・生徒）だけで、友人宅へ外泊することは望ましくありません。

まず、相手のご家庭の都合を配慮しなければなりません。また、外泊によって「心配な行動（夜間外出、喫煙・飲酒・薬物使用、有害サイトへのアクセス、SNSへの悪口書き込み…等）」が表出することも多いからです。